

山LP協第113号
令和8年2月10日

会 員 各 位

(一社) 山口県LPガス協会
会 長 床 西 悟

令和7年高圧ガス事故の発生状況及び事故の未然防止に係る
取組みの強化について（通知）

平素から、当協会の事業に格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、このことについて、山口県総務部長から別添のとおり通知がありました
ので、お知らせします。

一般社団法人山口県LPガス協会事務局
TEL.083-925-6361/FAX.083-923-8366
e-mail: info@y-lpgas.jp

令 7 消 防 保 安 第 7 9 1 号

令和 8 年 (2026 年) 1 月 3 0 日

一般社団法人山口県 L P ガス協会 長 様

山 口 県 総 務 部 長

令和 7 年高圧ガス事故の発生状況及び事故の未然防止に係る
取組みの強化について (通知)

高圧ガスの保安対策の推進につきましては、平素から格別の御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の高圧ガス事故の発生件数は 3 3 件となり、依然として多発する状況が続いています。

そこで、このたび、県内の高圧ガス製造事業所に対し、事故防止について別紙 (写) のとおり通知しました。

つきましては、貴協会におかれましても、保安防災部会等の活動を通じ、会員事業所に対する指導方について、よろしくお願いします。

消 防 保 安 課
産 業 保 安 班
TEL 083-933-2374



高圧ガス製造事業所長 様

山 口 県 総 務 部 長

**令和 7 年高圧ガス事故の発生状況及び事故の未然防止に係る
取組みの強化について（通知）**

高圧ガスの保安対策の推進につきましては、平素から格別の御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の高圧ガス事故の発生件数は 33 件となり、一昨年よりも 6 件増加しており憂慮すべき状況です。

事故の原因としては、腐食劣化、検査管理不良といった設備の適切な保守管理が不十分なことによるものが多く、日常点検や定期検査等による異常の早期発見、設備の予防保全が求められます。また、振動等による金属疲労の蓄積によって亀裂や開口に至ったケースも多く見られたため、設置後、相当の期間が経過した設備等については状態をしっかりと確認して更新等の対応をお願いします。

また、重大事故の発生はありませんでしたが、昨年漏えいしたガスは可燃性ガスが半数を占めており、重大な火災・爆発事故につながりかねないため、取扱い物質の危険性について今一度確認することが重要です。

ついては、添付資料を参考にされ、下記の事項に留意の上、事故の未然防止に係る取組みの強化に努めていただくようお願いいたします。

記

1 高圧ガス設備の適切な点検・検査による保守管理の徹底

事件事例を参考に、自社の設備機器類の使用状況・経過年数を踏まえ、これまでの保守管理について様々な角度から検証を行い、既存の点検・管理方法を見直すなど、事故の未然防止に向けた実行的な取り組みに努めること。

2 取扱物質に対する危険意識の再確認

取扱う物質の危険性について、事業所全体で再確認をすること。高圧ガスは、通常の状態よりも圧力が高く、より危険性が高いことを十分に認識し、その性質を理解した上で運転等を行うこと。

【添付資料】

資料 1：山口県内における高圧ガス事故の発生状況等について

資料 2：令和 7 年高圧ガス事故概要

消 防 保 安 課 産 業 保 安 班 TEL 083-933-2374
--

山口県内における高圧ガス事故の発生状況等について

1 過去5年間の高圧ガス取扱形態別事故発生状況

山口県においては、令和3年以降は30件前後の高い水準で推移しており、昨年は33件の事故が発生した。

また、昨年は、高圧ガス事故に係る死傷者は、軽傷1人であった。

表1 過去5年間の事故件数の推移

保安法事故 全体	年	R3	R4	R5	R6	R7
	事故	37	22	22	27	33
	盗難・喪失	0	2	0	0	1

表2 過去5年間の事故件数の推移（事象別）

事象別	年	R3	R4	R5	R6	R7
	火災・爆発	3	2	0	0	4
	漏えい	33	20	22	27	29
	その他	2	0	0	0	0

表3 過去5年間の事故件数の推移（規則別）

	年	R3	R4	R5	R6	R7
製造	一般	7	6	7	6	6
	液石	0	0	0	0	1
	コンビ	12	6	3	14	14
	冷凍	15	7	12	5	8
貯蔵	一般	0	0	0	1	0
	液石	0	0	0	0	0
消費	一般	1	2	0	0	1
	液石	1	0	0	0	0
移動	一般	1	0	0	1	2
	液石	0	0	0	0	0
その他		0	1	0	0	1

表4 過去5年間の死傷者数の推移

	R3	R4	R5	R6	R7
死者	0	0	0	0	0
重傷者	1	0	0	0	0
軽傷者	1	0	1	1	1
死傷者計	2	0	1	1	1

表5 過去5年間の事故件数の推移（ガス種別）

	R3	R4	R5	R6	R7
可燃	7	4	1	9	17
可燃・毒性	2	0	2	5	1
毒性	2	3	2	1	0
酸素	1	0	2	3	4
空気	0	0	0	0	0
不活性(冷凍を除く)	5	3	3	2	1
冷凍(フロン・不活性)	18	10	12	6	10
冷凍(不活性)	0	0	0	0	0
冷凍(可燃・毒性)	1	1	0	0	0
その他	1	1	0	1	0

表6 令和7年の事故原因（主因）別件数

		冷凍設備以外	冷凍設備
物的要因	設計不良	4	1
	製作不良	0	0
	施工管理不良	0	2
	腐食管理不良	6	2
	検査管理不良	2	0
	点検不良	1	0
	締結管理不良	1	0
	シール管理不良	0	0
	容器管理不良	0	0
人的要因	組織運営不良	0	0
	操作基準等の不備	1	0
	情報伝達の不備	0	0
	誤操作、誤判断、認知確認ミス	2	0
	不良行為	1	0
その他	自然災害	0	0
	交通事故	0	0
	その他(調査中含む)	5	5
合計		23	10